

東大工学部11号館の 講堂とラウンジ改修

長谷工が設計
・施工を寄付

東京大学大学院工学系研究科は、東京都文京区の東大工学部11号館の講堂とラウンジをリノベーションし、「HASEKOKU



講堂の完成予想パース

MA HALL」として2020年1月に開設する。設計は建築家で同研究科建築学専攻教授の隈研吾氏と長谷工コーポレーション、施工は長谷工コーポレーション子会社の長谷工リフォームが担当。長谷工コーポレーションは寄付という形で設計・施工ともに無償で提供する。

隈氏は同社が07年から実施している「長谷工住まいのデザインコ

ンペティション」で審査委員長を務めており、同研究科には同社と共同研究を実施している研究室もあることなども縁となり、リノベーションへの協力を要請。同社は社会貢献や実績づくりにもなることから要請を受諾した。

リノベーションを実施するのは工学部11号館1、2階の講堂・ラウンジ部分687・47平方メートルで、工期は3月1日から12月末まで。